

都道府県金融広報委員会 事務局員の活動紹介

子どもたちの、 素直な笑顔に 励まされて：

栃木県金融広報委員会
亀田 朱美

当委員会では、金融広報アドバイザーの協力を得て、さまざまな金銭・金融教育活動を展開しています。例えば、アドバイザー8名を中心に「お金ってなあに？」というリーフレットを作成し、これを使って、昨年は延べ64校でアドバイザー

による授業を実施しました。アドバイザーの学習会も毎月開催し、当委員会の構成団体や警察の方々などを講師として、腕を磨いています。こうした活動の中から、「おかねの使い方道場」というワークシート（金融広報中央委員会の「おかねのね」を参考に作成）を利用した取り組みを紹介します。まず、身長185cmの事務局員が扮する「大きな子ども」とアドバイザーが務める進行役（おかねの師匠）の寸劇からスタート。子どもたちの反応もバツチリです。そこで、

子どもたちが、自分の生活の中で買ったもの、持っているものを付箋に書き、ワークシートに貼ります。付箋は、①ニーズ、②ウォンツに分け、さらに、もう使っていないもの、買わなくてもよかったと思うものを分けて貼ります。とても簡単なようですが、子どもたちは悩み、考え、真剣に取り組みます。そのうえで、このワークシートを参考にこれからのお金の使い方を考えます。ここで、いかに子どもの金銭感覚を育むかが、アドバイザーの腕の見せどころです。まるでお孫さんに接す

るように子どもたちと向き合う姿は、とても微笑ましく、「子どもから学ぶことも多い」と話すアドバイザーもいます。これからも、こうした取り組みにより、多くの子どもたちとふれあい、お金の大切さを伝える場を作っていかうと思



前列中央が亀田さん

「がんばらんば！ 金融教育」

―学校の先生方を前にして―

長崎県金融広報委員会
中嶋 真由美

当委員会は、8月5日、学校の先生方を対象として「授業に役立つ金融経済セミナー」を、日本証券業協会との共催で開催しました。私は、事務局員として、カリキュラム作りの段階から参画しました。

会場を日本銀行長崎支店から借り受け、日本銀行長崎支店長による講演や同支店の見学を盛り込みました。当初予定した定員を上回る参加申し込みをいただきましたが、会場設営を工夫して、ご希望の方全員にご参加いただきました。

当日は、私自身「見てわかる！金融教育 ―授業の進め方」と題し、金融広報中央委員会作製のDVDを紹介させていただきました。先生方にお話させていただくようなことは、この担当になるまでは思

心な視線もあって、とても緊張しました。

幸い、私が紹介した「金融教育の具体的な実践事例」への先生方の関心はとても高く、終了後にDVDの借用要請を受けたときには、「少しは先生方のお役に立てたかな」と感じることができました。また、日本証券業協会のような関連団体との連携によって「効果的かつ効率的な活動」を目指すことは、今年度の金融広報活動のテーマにも沿うもので、有意義だと感じま

した。

今後とも、さまざまな人との出会いやあらゆる機会を通じ「がんばらんば！*金融教育」と決意を新たにしたいところです。

*長崎弁で「頑張らなければ」の意。ちなみに2014年10月の国体はその名も「長崎がんばらんば国体」です。

